

研究課題名：

インフルエンザ・COVID-19 関連死亡剖検例の分子病理学的解析

研究の目的と方法：

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、感染者の多くは自然緩解する予後良好な呼吸器ウイルス感染症ですが、高齢者等のハイリスク者では重症化し、致命的経過をとる場合があります。このような致命的な経過をとる重症呼吸器ウイルス感染症の発病機構にウイルスがどのように作用しているのかについては、まだ十分に解明されていません。

本研究ではインフルエンザや COVID-19 で亡くなった方の組織検体を分子病理学的に解析することで、ウイルスが感染した細胞や、増殖したウイルスの特徴、ウイルス感染に対する免疫応答の特徴を解析することで、これらの呼吸器ウイルス感染症の重症化の機序を明らかにし、インフルエンザや COVID-19 の重症化の予防や治療に役立つ知見を得ることを目的としています。本研究によって予防法や治療法開発などの感染症対策につながる重要な知見が得られることが期待されます。感染研感染病理部に保管されている全ての検体は医療機関から送付される際に匿名化されており、個人の特定は出来ません。研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2027年3月までに受診医療機関を通じて感染研感染病理部に病原体検査のために検体を送付された患者様

研究に利用する試料・情報：

検査依頼機関から病原体検査のために感染研感染病理部に提供された組織の残余検体（感染研に送付時に個人が特定されないように匿名化されており、年齢、性別、基礎疾患、臨床経過などを含みます。）

研究組織：

国立感染症研究所感染病理部
KOTAI バイオテクノロジー株式会社
東京大学医科学研究所
国立国際医療研究センター

試料・情報の管理について責任を有する者：

国立感染症研究所 感染病理部 部長 鈴木忠樹

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1
国立感染症研究所感染病理部 部長
鈴木忠樹（研究責任者）
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189